

# ハスモンヨトウ情報第2号 (キャベツ)

令和4年9月16日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

**キャベツほ場での発生量がやや多い状況です。  
ほ場での発生状況に注意しましょう。**

## 1 発生状況

(1) 9月上旬の巡回調査において、キャベツほ場における寄生株率は0.88% (平年0.21%、前年0%)で過去10年間と比較して最も高く、発生ほ場率は17.6% (平年10.3%、前年0%)で過去10年間と比較して2番目に多い状況です。

(2) フェロモントラップにおける誘殺数は、8月上旬から9月上旬にかけて稲沢市及び田原市中山町のキャベツほ場でやや多く推移しています (図1)。その他の地点では概ね平年並に推移しています。

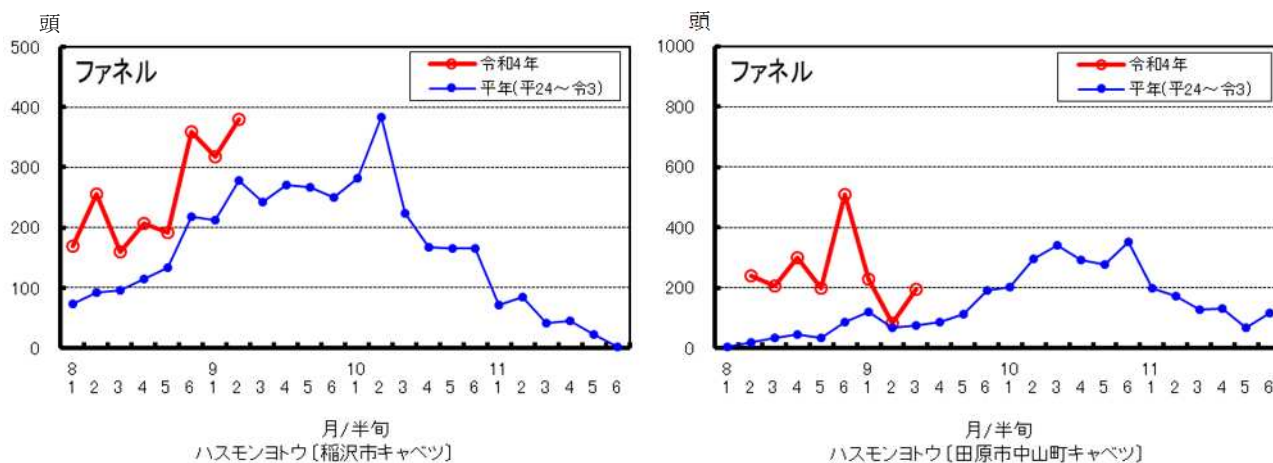


図1 フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺数

## 2 今後の予測

ハスモンヨトウは残暑が厳しく降雨の少ない年に多発する傾向があります。名古屋地方気象台9月15日発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高く、降水量は多いと予想されていますが、降水量が平年並になった場合は急増する可能性があります。ほ場での発生状況に注意しましょう。

## 3 防除対策

中齢以降の幼虫 (図2) は、薬剤による防除効果が低い傾向にあるので、分散前の若齢幼虫期 (図3) に防除しましょう (表)。薬剤感受性の低下を防ぐために、同一系統の薬剤を連用しないようにしましょう。



図2 ハスモンヨトウ中齢幼虫



図3 ハスモンヨトウ卵塊及び若齢幼虫

表 キャベツに対するハスモンヨトウの主な防除薬剤

農薬名	使用時期	使用回数	IRAC コード
エルサン乳剤	収穫 14 日前まで	2 回以内	1B
マッチ乳剤	収穫 7 日前まで	3 回以内	15
プレオフロアブル	収穫 7 日前まで	2 回以内	UN
トルネードエースDF	収穫 7 日前まで	2 回以内	22A
アニキ乳剤	収穫 3 日前まで	3 回以内	6
アクセルフロアブル	収穫前日まで	3 回以内	22B
プロフレア SC	収穫前日まで	3 回以内	30
ヨーバルフロアブル	収穫前日まで	3 回以内	28

IRAC コードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRAC コードの詳細は、[https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/2022/mechanism\\_irac02.pdf](https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/2022/mechanism_irac02.pdf) を参照する。

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。

### 3 その他

ハスモンヨトウと同時にシロイチモジヨトウやオオタバコガが発生している場合があります。どの害虫が発生しているかよく観察し、適用のある農薬で防除しましょう。